

一 総括表 一	
---------	--

□ 地域の現状と今後の方向性

ケアプラザ担当圏域(本郷第三地区)には昭和30～40年代頃に傾斜地へ宅地開発された戸建て住宅が多く、高齢化が進んでいます。一方で、幹線道路沿いや駅徒歩圏のエリアには、マンション開発が進み子育て世代が多く居住しています。ケアプラザの近くには、市民が交流する場として親しまれている本郷ふじやま公園があり、また地区の中央を流れている川の流れでは、夏になると蛍が見られるなど、豊かな自然環境が広がっています。

各自治会町内会では、季節行事などが多く催され、住民同士の顔の見える関係づくりを意識した取り組みが活発です。また、防災意識が高い地域が多く、要援護者支援体制の整備や安否確認訓練も積極的に行われています。地域の各種活動団体は、福祉保健計画の推進を通じて横のつながりを強めており、連携したイベントや研修会なども開催しています。しかし、自治会町内会の役員を含め、次世代の地域の担い手不足は顕著になっています。

担当圏域の高齢化率は、市区の平均とほぼ同程度で推移していますが、担当圏域には高齢化率50%を超える単一自治会もありました。生活道路に坂道が多いため移動が困難なことや、消費者被害・権利擁護に関する問題、認知症や孤立といった課題が深刻化しており、一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加が地域に大きな影響を及ぼしています。

ケアプラザとしては地区別福祉保健計画の取り組みの中で、地域住民や関係者はもとより、区役所や区社会福祉協議会とも連携し、地域の課題や実情を把握・共有することを重視しています。また地域の会議や行事、日常のやりとりを通じて培われた各関係団体や活動者とのネットワークを活かし、地域課題をテーマとした自主事業を展開するとともに、運営側としての参加や共催事業の開催を呼びかけ、地域全体での取り組みを進めていきます。住民が課題解決のプロセスに主体的にかかわる協働の場を意図的に設けることで、「我が事・我が町」の意識を醸成し、自主性を育みながら地域力の向上につなげていきたいと考えています。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	子ども達の安心できる居場所の取り組みを軌道に乗せる。 ・安定した居場所の運営を行っていくために、地域のボランティアスタッフ皆で意見を出し合いながら、より良い活動を目指していく。様々な特性の子ども達への関わり方や学習指導面など、運営側のスキルアップを図るような勉強会や意見交換会などの提案も積極的に行う。自主化した居場所の運営がスムーズに進むよう、ケアプラザとしても細やかなサポートを継続していく。
☐	☒	複合的な課題を持つ世帯、特に8050世帯への即効的な解決方法は見いだせないが、目を離さずに見守っていく必要がある。そのため必要に応じて区・高齢者支援担当だけでなく、生活支援センターや自立生活アシスタントなどと定期的な情報共有やカンファレンスを実施していく。
☐	☒	現役世代の地域への関心とつながりを作るための取組を実施する。 ・多くの世代が興味のある“防災”を切り口に、地域交流部門との共催でクロスロードゲームの展開を検討する。その中で、地域にある多様性に触れ、日頃からの交流や支えあうことの大切さへの理解につなげる。
☐	☒	R6年度より取り組んでいるチームオレンジは現在3チームに分かれている。それぞれが住民を巻き込みながら展開し、いずれは重なり合うことを目指す。また、畑づくり事業も地域にある多様性を享受する場となるよう、参加者に向けて認知症サポーター養成講座等を実施する。
☐	☐	

☐ 振り返り

チームオレンジ事業については、今年度、「なかまの会」「認さぼフレンズ中野」への継続的な支援を通じて、取り組みが一步ずつではあるものの、着実に地域へと広がりを見せている。関係者との対話や活動の積み重ねにより、認知症への理解や支えあいの意識が徐々に地域根づき始めていることを実感している。今後は、内部でそれぞれが担っている役割や機能を改めて整理・重ね合わせることで、単発的な支援にとどまらず、より効果的かつ重層的な取り組みへと発展させていく必要があると考えており、その具体的な方法について検討を進めている。

また、子どもと居場所づくりとして実施してきた「MANA・VIVA」については、今年度、地域主体の運営と移行し、現在は後方支援という形で関わりを継続している。担い手となっている地域の方々の主体的な努力により、運営自体は概ね安定して行われている一方、事業の継続性という観点からは、将来的な担い手の確保が課題として挙げられる。特に、参加している学生とのつながりをどのように次につなげていくかなど、中長期的な視点での人材育成・確保に向けた支援の必要性を感じている。

新たな取り組みとしては、桜井小学校において防災教育を実施した。学校との連携により土曜卓観の授業を活用することで、児童のみならず保護者、さらには地域全体の防災意識の向上につながる機会となった。地域の防災関係者にも参加・協力をいただいたことで、児童や保護者と地域の活動者との顔の見える関係を築く場ともなり、今後の地域防災力の向上に向けた土台づくりとしても意義のある取り組みであったと考えている。今後も学校との連携を一層深めながら、福祉や防災教育など、地域課題にもいちど学びと実践の機会を継続的に創出していきたい。

□ 区からのコメント

チームオレンジ事業については、地域団体への継続的な支援により、認知症への理解や支え合いの意識が地域へ着実に浸透している点を評価いたします。関係者との対話や活動の積み重ねにより基盤が形成されており、今後は役割や機能の整理を進めることで、より効果的かつ重層的な取組へと発展していくことを期待いたします。

また、子どもの居場所づくりについては、地域主体の運営へ移行し、安定的に継続されている点を評価いたします。一方で、事業の持続性に向けては担い手の確保が課題であり、学生など新たな人材の育成につながる支援の充実に求められます。担い手不足への対応は区域の共通課題でもあり、今後は幅広く連携・情報共有を図りながら、多様な取組を検討していく必要があると考えております。

さらに、学校と連携した防災教育の実施により、児童・保護者・地域住民が一体となって防災意識を高める機会が創出されており、顔の見える関係づくりの推進に寄与している点は大変有意義です。一つの事業を契機として、様々な場面でつながりが広がり、確かな手応えが感じられます。今後も学校等の地域資源との連携を深めながら、地域課題に応じた学びの機会が継続的に展開されることを期待しております。

令和7年度中野地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	相談者に対して、アセスメントで把握された解決すべき課題に対応するための最も適切なサービスの組み合わせについて検討し、事業者について利用者本位で選択できるよう、同一サービスでも複数ヶ所を紹介するよう努めます。また施設利用に関しては公正に抽選を行い公平性を担保した取り組みを行います。	個人情報保護については、横浜市の条例を遵守し全職員に研修を行い、職員一人ひとりが高い意識を持って個人情報の取り扱いに努めます。個人情報を扱う際にはダブルチェック等の基本的ルールを徹底する他、ヒヤリハット事例が起きた場合は会議等で共有し、事故防止に取り組みます。
実績	サービス事業所の選択に関して、相談者に対し複数ヶ所から選択できるよう、ハートページなどの事業所リストを用いて紹介を行った。	各部門の会議において、個人情報保護研修を実施し、日頃からの意識向上に努めた。また個人情報にあたる書類等の取り扱い時は慎重に、ダブルチェックのルールを遵守するよう各職員で取り組んだ。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護予防・日常生活支援総合事業の目的に沿って住民主体による支援その他の多様なサービスを取り入れていきます。本人に合った適正なサービスの利用促進につなげていきます。他職種部門とも適宜話し合い、委託事業所にも指導助言していきます。	利用者が可能な限り住み慣れた地域に於いて安心して暮らし続ける事ができるよう、適切な保健医療、及び福祉サービス、インフォーマルサービスが総合的かつ効率的に提供されるように支援します。また公共施設の事業所として地域に根ざした支援を実践し、地域の皆様から信頼され、必要とされる事業所を目指します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者 看護師 1名(常勤兼務) 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 社会福祉士 2名(常勤兼務)	管理者(常勤兼務) : 1名 常勤専従 : 4名
契約者数	194名	147 名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	生活とリハビリの理念の基、寝たきり・閉じこもりを作らない取り組みをします。		
実施体制	【実施日数】 週 7 日 【提供時間】 9:40～16:40 【定員】 42名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 ●食費負担 850円【1回】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	● 管理者 1名 ● 生活相談員 4名(介護職員兼務) ● 介護職員 19名 ● 看護職員5名 (機能訓練指導員兼務) ● 機能訓練指導員 5名(看護師兼務) ※ いずれの職員も第1号通所介護職員と兼務		
契約者数等	【延べ利用者数】 10,008名 【契約者数】 111名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「中野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,321,218	7,695,953	28,017,171	27,489,171	528,000	横浜市より
内 受領額	20,321,218	7,695,953	28,017,171	28,017,171	0	
内 戻入額				△ 528,000	528,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	50,000		50,000	24,800	25,200	
雑入	130,000	0	130,000	155,496	△ 25,496	
内 印刷代	0		0	0	0	
内 自動販売機手数料	130,000		130,000	133,396	△ 3,396	
内 その他	0		0	22,100	△ 22,100	
その他	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
収入合計	24,088,718	7,695,953	31,784,671	31,256,967	527,704	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	14,191,736	525,109	14,716,845	14,596,368	120,477	本部経費は含まれず
内 本俸	9,500,000	525,109	10,025,109	12,455,791	△ 2,430,682	
内 社会保険料	1,500,000		1,500,000	1,512,074	△ 12,074	
内 手当計	2,500,000		2,500,000	24,605	2,475,395	
内 健康診断費	10,000		10,000	17,448	△ 7,448	
内 勤労者福祉共済掛金	250,000		250,000	402,209	△ 152,209	
内 退職給付引当金繰入額	250,000		250,000	144,492	105,508	
内 その他	181,736		181,736	39,749	141,987	
事務費	1,500,000	0	1,500,000	1,196,104	303,896	本部経費は含まれず
内 旅費	10,000		10,000	5,700	4,300	
内 消耗品費	300,000		300,000	114,529	185,471	
内 会議開い費	10,000		10,000	0	10,000	
内 印刷製本費	20,000		20,000	64,131	△ 44,131	
内 通信費	150,000		150,000	101,140	48,860	
内 使用料及び賃借料	78,400	0	78,400	191,021	△ 112,621	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	8,400		8,400	8,400	0	
内 内 その他	70,000		70,000	182,621	△ 112,621	
内 備品購入費	0		0	91,564	△ 91,564	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	30,000		30,000	18,399	11,601	
内 職員等研修費	10,000		10,000	300	9,700	
内 振込手数料	5,000		5,000	2,022	2,978	
内 リース料	800,000		800,000	712,294	87,706	
内 手数料	0		0	0	0	
内 地域協力費	30,000		30,000	50,500	△ 20,500	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
内 印紙税	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 その他	56,600		56,600	△ 155,496	212,096	
事業費	300,000	0	300,000	86,385	213,615	本部経費は含まれず
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000	86,385	213,615	
内 その他	0		0		0	
管理費	7,442,982	0	7,442,982	6,110,409	1,332,573	本部経費は含まれず
内 光熱水費	3,500,000		3,500,000	3,787,572	△ 287,572	
内 清掃費	1,400,000		1,400,000	1,383,403	16,597	
内 機械警備費	150,000		150,000	140,803	9,197	
内 設備保全費	2,392,982	0	2,392,982	702,498	1,690,484	
内 空調衛生設備保守	300,000		300,000	82,341	217,659	
内 消防設備保守	100,000		100,000	105,994	△ 5,994	
内 電気設備保守	100,000		100,000	41,171	58,829	
内 害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	0	50,000	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	1,842,982		1,842,982	472,992	1,369,990	
内 共益費	0		0	0	0	
内 その他	0		0	96,133	△ 96,133	
修繕費	474,000	260,044	734,044	734,044	0	予算・指定額
太陽光パネル保守点検			0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	6,910,800	6,910,800	0	6,910,800	
内 LED化改修費用		6,663,800	6,663,800	6,663,800	0	
内 物価スライド追加		247,000	247,000	0	247,000	
支出合計	23,908,718	7,695,953	31,604,671	22,723,310	8,881,361	
差引	180,000	0	180,000	8,533,657	△ 8,353,657	

自主事業費 収入	50,000	0	50,000	24,800	25,200
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	86,385	213,615
自主事業 収支	△ 250,000	0	△ 250,000	△ 61,585	△ 188,415

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	130,000	0	130,000	133,396	△ 3,396	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	8,400	0	8,400	8,400	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	121,600	0	121,600	124,996	△ 3,396	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「中野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	31,901,731	1,183,973	33,085,704	32,665,704	420,000	横浜市より
内 受領額	31,901,731		33,085,704	33,085,704	0	
内 戻入額				△ 420,000	420,000	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,147,137	194,918	6,342,055	6,342,055	0	横浜市より
内 受領額	6,147,137		6,342,055	6,342,055	0	
内 戻入額				0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	16,500	△ 16,500	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	90,000	△ 90,000	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代	0		0	0	0	
内 自動販売機手数料	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
収入合計	38,402,868	1,378,891	39,781,759	39,468,259	313,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,185,868	1,236,891	35,422,759	33,653,495	1,769,264	法人本部経費は含まれず*
内 本俸	19,000,000	1,236,891	20,236,891	28,074,850	△ 7,837,959	
内 社会保険料	4,500,000		4,500,000	4,304,377	195,623	
内 手当計	9,000,000		9,000,000	23,497	8,976,503	
内 健康診断費	40,000		40,000	32,691	7,309	
内 勤労者福祉共済掛金	530,000		530,000	617,437	△ 87,437	
内 退職給付引当金繰入額	520,000		520,000	541,593	△ 21,593	
内 その他	595,868		595,868	59,050	536,818	
事務費	1,002,000	0	1,002,000	1,044,826	△ 42,826	法人本部経費は含まれず*
内 旅費	15,000		15,000	27,640	△ 12,640	
内 消耗品費	200,000		200,000	49,832	150,168	
内 会議時費	0		0	0	0	
内 印刷製本費	0		0	0	0	
内 通信費	230,000		230,000	223,184	6,816	
内 使用料及び賃借料	4,000	0	4,000	48,546	△ 44,546	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
内 その他	4,000		4,000	48,546	△ 44,546	
内 備品購入費	0		0	0	0	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	70,000		70,000	75,085	△ 5,085	
内 職員等研修費	100,000		100,000	101,900	△ 1,900	
内 振込手数料	5,000		5,000	2,073	2,927	
内 リース料	350,000		350,000	391,050	△ 41,050	
内 手数料	10,000		10,000	8,360	1,640	
内 地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
内 印紙税	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 その他	8,000		8,000	117,156	△ 109,156	
事業費	1,484,000	0	1,484,000	638,259	845,741	法人本部経費は含まれず*
内 協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	200,000		200,000	25,460	174,540	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	160,663	△ 6,663	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	242,136	△ 42,136	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	0	300,000	
内 その他			0		0	
管理費	1,805,000	0	1,805,000	1,624,271	△ 19,271	法人本部経費は含まれず*
内 光熱水費	1,004,686		1,004,686	1,006,822	△ 2,136	
内 清掃費	367,983		367,983	367,740	243	
内 機械警備費	37,427		37,427	37,427	0	
内 設備保全費	194,904	0	194,904	186,730	8,174	
内 空調衛生設備保守	10,000		10,000	21,887	△ 11,887	
内 消防設備保守	20,000		20,000	28,173	△ 8,173	
内 電気設備保守	35,000		35,000	10,943	24,057	
内 害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	0	10,000	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	119,904		119,904	125,727	△ 5,823	
内 共益費	0		0	0	0	
内 その他	0		0	25,552	△ 25,552	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額
その他	0	142,000	142,000	0	142,000	法人本部経費は含まれず*
内 物価スライド追加		142,000	142,000	0	142,000	
支出合計	38,402,868	1,378,891	39,781,759	37,086,851	2,694,908	
差引	0	0	0	2,381,408	△ 2,381,408	

自主事業費 収入	0	0	0	106,500	△ 106,500	
自主事業費 支出	854,000	0	854,000	428,259	425,741	
自主事業 収支	△ 854,000	0	△ 854,000	△ 321,759	△ 532,241	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	0 目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	0 目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	0

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

7年4月1日～ 8年3月31日

(単位:千円)

施設名: 中野地域ケアプラザ

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,600	4,089	2,511	7,000	6,712	288	30,000	34,559	-4,559	95,000	106,684	-11,684	9,000	13,597	-4,597
	その他	450	487	-37			0	290	326	-36	1,000	1,199	-199	0	0	0
	受入研修費収入	0	24	-24			0			0		28	-28			0
	利用者等外給食費収入	0	456	-456			0		326	-326	0	1,171	-1,171			0
	事業・負担金収入	0		0			0	290		290			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他	450	7	443			0			0	1,000		1,000			0
	収入合計(A)	7,050	4,576	2,474	7,000	6,712	288	30,290	34,885	-4,595	96,000	107,883	-11,883	9,000	13,597	-4,597
支出	人件費			0			0	21,150	25,760	-4,610	82,000	82,286	-286			0
	事務費			0			0	3,700	4,848	-1,148	12,500	11,738	762			0
	事業費			0			0			0	17,000	15,944	1,056			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	6,400	5,774	626	6,200	3,354	2,846	780	405	375	810	1,870	-1,060	0	61	-61
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	6,400	5,774	626	6,200	3,354	2,846			0			0	0	61	-61
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	780	405	375	810	1,870	-1,060			0
	支出合計(B)	6,400	5,774	626	6,200	3,354	2,846	25,630	31,013	-5,383	112,310	111,838	472	0	61	-61
収支 (A)－(B)		650	-1,198	1,848	800	3,358	-2,558	4,660	3,872	788	-16,310	-3,955	-12,355	9,000	13,536	-4,536

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業
		1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
1	虻名公園移動販売	令和3年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	R2年度創出の本三買物支援検討委員会で主に高齢者の外出困難について協議している。まず買物困難への対策として移動販売導入に取り組み、買物だけでなく、交流や安否確認の場としての役割も備える。	5：地域		・イオンフードスタイル(ダイエー)港南台の移動販売の誘致から運営についての地域主体の協議体。 ・R3年8月～毎週水曜10:50～11:40	46	0	1,098	0
2	東上郷町移動販売	令和2年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	買物困難への対策として移動販売導入に取り組み、買物だけでなく、交流や安否確認の場としての役割も備える。場所は東上郷町3自治会合同の夏祭り等の会場として親しまれている通称ドレミ公園。	5：地域		・イオンフードスタイル(ダイエー)港南台の移動販売の誘致から運営についての地域主体の協議体。 ・R2年11月～毎週金曜11:10～11:40	46	0	1,075	0
3	亀井町移動販売	令和6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	買物困難への対策として移動販売導入に取り組み、買物だけでなく、交流や安否確認の場としての役割も備える。場所は亀井公園で、亀井町寄りの尾月住民へも呼びかける。	5：地域		・マルエツ井土ヶ谷店の移動販売の誘致から運営についての地域主体の協議体。 ・R6年5月～毎週木曜14:30～15:00	51	0	1,137	0
4	「なかのカフェ」認知症介護者のつどい	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護の悩みを同じ境遇の方と話し合う事で、介護者の孤立感や身体的・精神的負担の軽減を目的とする。同時に認知症方、介護者を支える地域づくりを目指す。	5：地域		介護の悩みを同じ境遇の方と話し合う事で、介護者の孤立感や身体的・精神的負担の軽減を目的とする。同時に認知症方、介護者を支える地域づくりを目指す。	5	0	26	0
5	高齢者虐待防止出前講座	平成28年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢者虐待の第一発見者となる可能性の高い支援者に対し、高齢者虐待防止の普及・啓発を行い、早期発見、連携体制を構築する。	6：事業者		・内容：高齢者虐待防止について出前講座 ・対象：栄区内の居宅介護事業所、サービス事業者等 ・会場：介護事業所等 ・事業所に広報、申込時に開催。	8	0	79	0
6	認知症サポーター養成講座	平成21年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるよう、認知症について学び・理解を深めることを目的とする。	5：地域		・内容：認知症サポーター&ステップアップ講座 ・対象：地域住民、民生委員等	4	0	76	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		2：障害児・者 5：地域 6：事業者
5：共催（1と3）		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
7	貸館利用団体合同連絡会	H28年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・貸館調理室を利用する地域住民の交流、避難経路の確認、情報交換の場の提供 ・夏（6月）：調理室利用団体向けにミニ衛生講座実施 ・冬（12月）：貸室の大掃除も実施	5：地域		ケアプラザに登録している調理室利用団体を対象に情報交換などを行える場を設定。食中毒予防などの身に講話のほか、調理室の利用方法の確認や食器類の洗浄作業、いざという時の避難経路の周知の機会とした。	2	0	36	0
8	ふれあいの会	H24年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・地域住民の交流の場の提供 ・介護予防、閉じこもり防止 ・ボランティア活動の場の提供 地域の交流の場として、茶話会を中心にボランティアグループの発表の場としてや、ボランティア活動の導入の場として機能している。また、包括の介護予防の啓発、取り組みへの導入としても機能している。	1：高齢者		・栄区在住者対象 ・会場：中野地域ケアプラザ（多目的ホール） ・回数：概ね12回（毎月1回程度開催）	12	0	333	0
9	おたすけボラ・中野	H25年度～	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	・地域の高齢者・障がい者の生活サポートを目的としたボランティアグループ活動。運営・活動に関して円滑に進むよう、ケアプラザが会議の開催を含め、活動に関わる事務局を担っている。 ・運営会議の開催 ・スキルアップ支援 ・担い手の発掘・育成 ・支えあう地域づくり	5：地域		・栄区内で中野地域ケアプラザに隣接の町内（元大橋・若竹町・中野町・鍛冶ヶ谷、上郷町の一部が中心） ・運営会議の回数：年6回（4・6・8・10・12・2月）	6	0	46	0
10	子どもの居場所プロジェクト	令和3年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	・地域に子ども達の安心できる安全な居場所を増やすための取り組みを進めるための運営会議や研修の場。	4：子ども・青少年		・栄区内の中野ケアプラザ周辺（本郷第三地区中心）在住の大人と近隣の中・高・大学生 ・会場：中野地域ケアプラザ（多目的ホール） ・回数：（概ね隔月1回）	8	0	71	0
11	MANA★VIVAなかのDEのんびり時間（小学生向け放課後）	令和4年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域の小学生向けの居場所を定期的開催。宿題や工作、ゲームなど自由楽しめるコーナーを提供。4月から「地域ボラ マナ・ビバ」として自主グループ化。運営・活動が軌道に乗るまでケアプラザとしてできる支援を行う	4：子ども・青少年		・栄区在住・在学の小学生（概ね本郷第三地区） ・会場：中野地域ケアプラザ ・日程：毎週水曜の15：00～16：30	47	0	748	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
12	ハマトレでロコモ予防	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防普及強化事業として、ご当地体操のハマトレを普及し介護予防に自ら取り組めるように開催	5：地域		・講師：栄スポーツセンター 大山絵里氏 ・ハマトレ体験版後、注意点を説明 ・家でもできるタオル体操を実施	1	0	35	0
13	認知症マフ・ワークショップ	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	チームオレンジ事業として、NPO法人ONBOARDに依頼し、認知症マフの意味を知るとともに、ニット作家・能勢マユミ氏を講師に迎えおこなったワークショップ。認知症マフを通して地域住民に認知症理解を促進するために開催。	5：地域		認知症の基礎知識を学んだうえで、認知症マフの製作体験を実施。	1	0	30	0
14	担当薬局との懇談会	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	中野地域ケアプラザの担当薬局との懇談会を通して、顔の見える関係を構築及び継続していくための取り組み。	6：事業者		年間4回を開催予定。1回目はオンラインでの顔合わせと今年度の開催計画を策定。2回目は「介護保険制度について」、3回目は「調剤報酬明細書の見方等」、4回目は地域ケア会議の予定。	3	3	20	20
15	スマホ相談会	令和6年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	スマホのちょっとした不明点や知ると便利な機能などを学生ボランティアを講師として実施。異世代交流も目的とする。	1：高齢者		・近隣にお住まいの主に高齢者 ・会場：中野地域ケアプラザ ・2つの時間帯に分け、マンツーマンでの対応でその方の困り事を解決する。	1	0	9	0
16	クロスロード講座	令和7年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	大地震発生のおそれが言われて久しい昨今、もっと地域で防災の学び、考えていく。同時に、地域にある年齢や家庭環境による考え方の違いにも触れていただく。	5：地域		・会場：中野地域ケアプラザ ・講師：防災士2名（地域交流co・地域住民） ・年齢が多様な3グループに分け、各GIにCP職員が読み手として入り実施。	1	0	22	0
17	なかまふの会	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	チームオレンジ事業の一環として「認知症マフをつくる会」を立ち上げ、手芸好きな地域住民が集まりマフを制作。完成した認知症マフは、近隣の病院や福祉施設へ配布し、認知症への理解促進とマフの普及を図っている。	1：高齢者		昨年度「なかまふの会」を立ち上げ。今年度より自主化し活動。9/30パンフレットを活用しチームオレンジ事業の普及啓発の懇談会を実施した。	1	0	5	0
18	青春ソングでフレイル予防	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	普及啓発強化事業音楽療法で運動・口腔機能の向上を図り、栄養の講話も入れて自らフレイル予防に取り組む	1：高齢者		・7月7日、29日の2回シリーズの音楽療法 ・口腔・運動・を歌を歌いながら動いていき、認知機能を上げていく ・講師は音楽療法士の高橋亮太郎氏	2	0	40	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
19	保活共催 測定会	令和7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	毎月本郷第3地区保健活動推進員が開催している事業に共催にて包括協力、測定器具を使い自らの健康状態を確認し介護予防に取り組めるようにする	5：地域		・血圧、血管年齢、足指力、握力等の測定 ・その後は健康づくり係の保健師が説明	1	0	35	0
20	MANA★VIVAなかのDE夏時間 （夏休み小学生向け）	令和3年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域のニーズに合わせた居場所づくりの検討を進めるため、夏休み期間に小学生向けに企画。地域の有志ボランティア・学生ボランティアと一緒に、昼食やおやつ作りをしたり、工作・ゲームなどを楽しむ機会を提供。	4：子ども・青少年		・栄区内の小学生（概ね本郷第三地区） ・会場：中野地域ケアプラザ ・日程：7/30、8/22	2	0	64	0
21	よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	平成31年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	区内ケアプラザ7館が、隔月輪番制で実施。区内で活動しているボランティアの方が参加しやすい仕組みとなっており、新しい活動者の発掘にもつながっている。	1：高齢者		・栄区在住者対象 ・会場：中野地域ケアプラザ ・回数：各ケアプラザで年1回	1	0	2	0
22	コグニサイズでフレイル予防	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防普及強化事業として、運動と認知機能を高めるエクササイズを開催し、自ら介護予防に取り組めるようにする	1：高齢者		日時・場所：R7.10.15 中野地域ケアプラザ 多目的ホールにて実施 講師：健康運動指導士・コグニサイズ指導員 内容：コグニサイズ	1	0	34	0
23	食べて作って学ぼうお口と栄養	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防普及強化事業として、口腔と栄養に関する講座と実演で、自ら介護予防に取り組めるようにする	1：高齢者		R7.10.30「食べて学ぼうお口のはたらき」 講師：歯科衛生士 R7.11.11「作って学ぼう栄養のお話」 講師：管理栄養士 内容：講義、演習、調理実習	2	0	25	0
24	桜井小学校防災学習（4年生）	令和7年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	地域と学校が防災について一緒に話し合うことで、地域との連携の大切さを学び、ともに防災活動に取り組む姿勢を学ぶ機会を提供する。	4：子ども・青少年	地域	・桜井小学校4年生親子（2クラス94名）対象 ・会場：桜井小学校体育館・各教室 ・共催：包括・生活支援・区社協・区役所 ・協力：町内会長・防災・主任児童委員など ・日程：11/29（2・3時間目）	1	0	107	0
25	冬休み小学生向け「書初め教室」	令和元年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・地域の子どもの交流の場 ・余暇支援 小学生を対象とした宿題対策と居場所づくりのために実施。地域のボランティアに講師を依頼。	4：子ども・青少年		・栄区（主に本三エリア）在住者対象 ・内容：冬休みの宿題の書初め対策講座 ・会場：中野地域ケアプラザ ・講師：福田氏、宮本氏 ・協力：地域ボラ「マナ・ビバ」	1	0	19	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		2：障害児・者 5：地域 6：事業者
5：共催（1と3）		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
26	小さなアーティスト展	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・障がいのある子ども達の表現の場・交流の場の提供 ・共催：栄区7ヶアブラザ、区社協、リリス協力：さかえdeつながるアート協賛：あしながふれあいプロジェクト	2：障害児・者		内容：絵画・作品展 対象：栄区内特別支援学校・個別支援学級に通う省・中学生と栄区内障がい施設利用者 日程：12/2～12/7 会場：リリス	6	0	430	0
27	権利擁護講座	平成24年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民がご自分の人生を最後まで自分らしく過ごせるための権利擁護を学ぶ。 ・ライフノート普及啓発	5：地域		内容：終活を通して権利擁護を学ぶ ①11/8 民事信託って何？安心の財産管理 ②12/20 後見人制度・死後事務 ③1/20 私と家族の100年ライフ エンディングノートを書いてみよう	4	0	91	0
28	成年後見制度出前講座	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	成年後見制度等の権利擁護が必要な高齢者と関わる可能性の高い支援者に対し、成年後見制度の普及・啓発を行い、早期発見、連携体制を構築する。	6：事業者		・内容：成年後見制度について出前講座 ・対象：栄区内の居宅介護事業所、サービス事業者等 ・会場：介護事業所等 ・事業所に広報、申込時に開催。	1	0	3	0
29	七五三プロジェクト	令和7年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	・困窮世帯の子どもとその親を対象に、ヶアブラザで「着物を着る」	4：子ども・青少年	地域	・対象：栄区本郷第三地区在住者 ・内容：着物を着て写真を撮り、地域の方と交流する機会とする。 ・日程：2/11（中野ヶアブラザ内） ・共催・協力：生活支援、区、区社協、地区社協、子ども家庭センター、きものっ子	1	0	4	0
30	おうちヨガ	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	家で出来る運動を提案、体を伸ばす気持ちよさを実感してもらい自ら介護予防に取り組めるようにする	1：高齢者		・日時・場所：R8年1月30日 中野地域ヶアブラザ多目的ホール ・対象：栄区周辺の高齢者 ・内容：ヨガインストラクターの講話と実践	1	0	24	0
31	フットケア＆靴の選び方	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・地域交流部門の「ふれあいの会」と共催 ・フットケアや靴の選び方の大切さを紹介し、個別の疑問に答えて、自ら実践できるようにする	1：高齢者		日時・場所：R8年2月13日 中野地域ヶアブラザ多目的ホールにて実施 講師：リハビリポート横浜の理学療法士や看護師等計4名 内容：講話と実際の靴のサイズやフットケアの方法を個別の疑問に答えながら実践	1	0	33	0